

．調査の概要

1．調査の目的

若者を取り巻く諸課題に対し、若者がどのように考えているのか、また、政府、地方自治体、民間団体等による子ども・若者育成支援施策について、若者がどのように評価しているのかを検証するため、ニート、ひきこもり、不登校など困難を有する子ども・若者の支援についての考え方について調査し、その成果を点検・評価会議における資料として活用するなど、子ども・若者ビジョンに基づく子ども・若者育成支援施策の実施状況の点検・評価と今後の制度設計に資するために実施した。

2．調査方法

(1) 調査方法

インターネット

調査票の様式を Web 画面上に示して回答者の自記式で行う、いわゆる「クラウド型」のインターネット調査により、調査対象者から直接回答を回収する。

(2) 調査対象者

A：15 歳～29 歳で、ニート、ひきこもり、不登校、高校中退のいずれか又は複数の経験のある若者(現在、その状態にある場合も含む)。

B：15 歳～29 歳の上記に該当しない若者。

(3) 有効回答数

3219 サンプル

(4) 調査対象 A の から 各類型の定義

ニート

学校(高等学校、大学、専門学校のほか、予備校等も含まれる。)に通っておらず、独身であり、仕事を探しておらず、普段収入になる仕事をしていない状態が1週間以上あること。

ひきこもり

普段ほとんど外出をしない(自室からほとんど出ない、自室からは出るのが家から出ない、近所のコンビニなどには出かける、趣味の用事のみだけ外出する)状態が6か月以上であること。ただし、病気、妊娠、出産・育児、自宅で仕事・家事をしているため外出しない場合を除く。

不登校

小学校、中学校、高等学校又はそれに相当する学校において、年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的、又は社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない又はしたくともできない状況にあること。ただし、病気や経済的理由によるものを除く。

高校中退

高校を中途退学した者。引っ越しや親の転勤に伴わない転学をした者も含む。ただし、経済的な理由、病気による中途退学や転学を除く。

(5) 抽出方法：インターネット調査会社の登録のリサーチモニター

(6) 調査期間：平成24年10月17日(水)～11月22日(木)

3. 調査実施機関

ユナイテッド株式会社

4. 注意事項

- (1) 回収比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても、100%にならない場合がある。
- (2) 設問によっては、複数回答の結果、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (3) 「(計)」と表記している場合、(計)の回答比率は回答件数から再度算出しているため、小数点以下に誤差が生じ、単純集計結果の比率を足した合計と合わない場合がある。
- (4) グラフに表記される「n=*」(*は数字)は、対象の基数を表す。
- (5) グラフや表の中での選択肢の文章が長い場合は、簡略化して表現しているため、アンケート調査票の文章とは一致していない場合がある。